

# 経営比較分析表

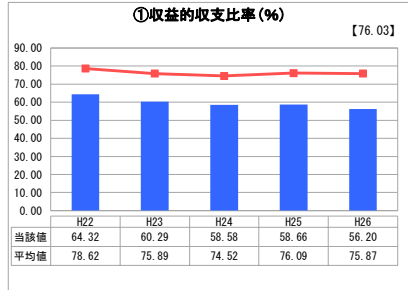
高知県 土佐町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	92.05	2,178

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,109	212.13	19.37
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,777	22.70	166.39

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

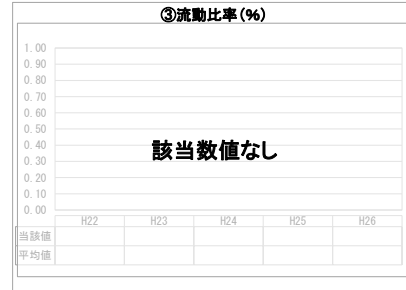
## 1. 経営の健全性・効率性



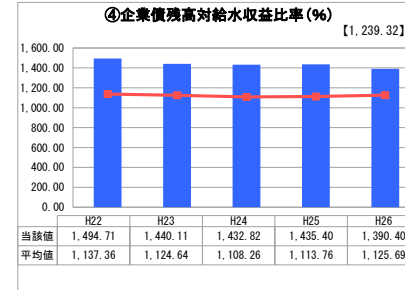
「単年度の収支」



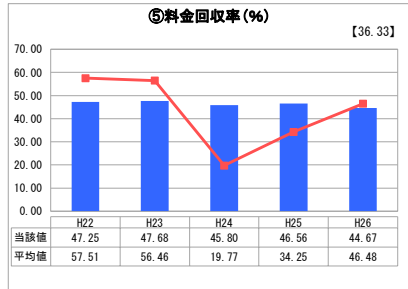
「累積欠損」



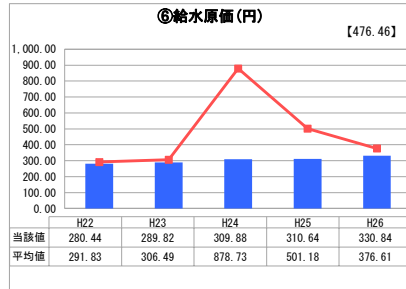
「支払能力」



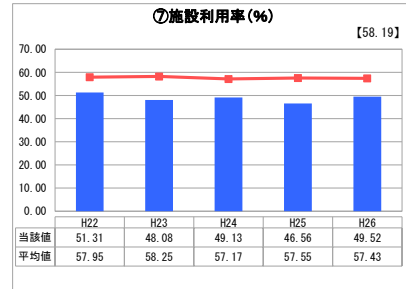
「債務残高」



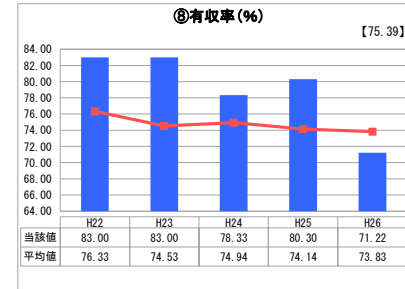
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

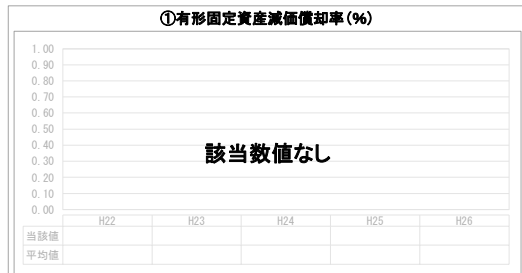


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

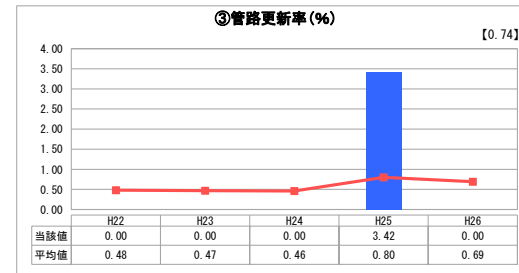
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、類似団体の平均を下回っており、赤字の状況が続いている。  
④企業債残高対給水収益比率については、起債残高が減少しているものの、以前比率は高く、類似団体の平均値より高い比率となっている。  
⑦⑧施設利用率は類似団体の平均値より低い比率となっている。また、有収率についても、H26は災害による漏水により悪化している。

維持管理については、下水道と共に包括委託や担当者の人員配置の効率化によって、維持管理面の経費削減に努めているが、人口減少等の影響により経営の健全化は進まない状況である。  
今後も安全な供給体制を確保しつつ、維持管理経費の削減を継続的に実施し、少しでも健全化が進むように努力する。

### 2. 老朽化の状況について

簡易水道施設は、施設の稼働年数にも開きがあるため、計画的な修繕等を進めていかなければならない状況である。しかし、規模の小さい施設は水道料金収入に対して維持費がかかるとともに人口減少も進んでおり、費用対効果を考慮すると、計画的な老朽化対策は厳しい状況となっている。

### 全体総括

維持管理等の経費削減に努めている状況であるが、施設の老朽化による漏水対応に係る管理費用の増加や人口減少による料金収入の減少により、経営の健全化は進まない状況である。  
今後も安全な供給体制を維持しつつ、維持管理経費の削減を継続的に実施し、少しでも健全化が進むように努力する。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。